

# カナモジ書体とは

ノハラ ススム

わたしたちは カタカナで 文章を かく とき、カナモジ文用に デザインされた 書体 「カナモジ書体」を つかって います。それは、カタカナの「語形をつくる チカラ」を 最大限に 発揮させる ためです。

アルファベットは 語形をつくる チカラの つよい モジ です。たとえば、英語の「dog」という 単語は、「d」・「o」・「g」と 1字ずつ ひろいよみしなくても「dog」全体を ヒトメで とらえる ことができます。カタカナにも 語形をつくる 十分な チカラが あります。カタカナは その 大部分は もともと 漢字の 一部だから です。（「イ」は「伊」の ヒダリ、「ヒ」は「比」の ミヅの 部分です。）「イ」と「ヒ」で 漢字の「化」を、「タ」と「ト」で「外」を かたちづくって いる ように、カタカナを くみあわせて「イヌ」「アサヒ」の ように 語形をつくる ことができます。この ことによつて、単語は 語形として ヒトメで つかむ ことができます。

ところが、ふだん ワタシたちが メにする 明朝体や ゴシック体 などの カタカナは、漢字かなまじり文で つかわれる ことを 前提として 設計された もの なので、語形をつくると いう ことには まったく ココロクバリが なされて いません。したがって、カタカナの 語形をつくる チカラを だしきる ことが できません。

そこで、この 語形をつくる チカラを 最大限に 発揮させる ように クフウして つくられたのが 「カナモジ書体」です。この 文章の カタカナはその ひとつである 「アラタ」書体で かかれています。その もっともおおきな 特徴は、「アサヒ」の ように ウエの 水平線が おなじ タカサになって おり 文字と 文字とを むすびつけて いる こと、そして、「サ」「ヒ」の ように その 水平線の ウエに つきぬける タテの 線が 文字の ツラナリに 個性を あたえる ことによつて 語が かたちづくられて いる ことです。

これは、英語の「foot」を例にとると、「f」と「t」のヨコ線が「o」のウエとおなじタカサにあって、語全体をむすびつけ、タテ線がウエへつきぬけることで語形をつくっているのとおなじことです。

この原理をつかったカナモジ書体のフォントで現在テにはいるものは、「アラタ」のほかに「ツルコズ」があります。これらを明朝体とくらべてみていただきましょう。ウエから「明朝体」(20ポ、ヨコハバ:100%)、「アラタ」(20ポ、80%)、「ツルコズ」(24ポ、100%)です。

アキ ノ ユウヒ ニ テル ヤマモミジ  
アキ ノ ユウヒ ニ テル ヤマモミジ  
アキ ノ ユウヒ ニ テル ヤマモミジ

芸術性からみても「アラタ」「ツルコズ」のすぐれていることがおわりのこととおもいます。「アラタ」「ツルコズ」にはそれぞれツギのようなトクチョウがありますので、リカイしておつかいください。

1 デザインは「ツルコズ」のほうが「デコボコ」がめだつ。そのためおなじポイントのホカのフォントとくらべるとちいさくみえる。

2 「アラタ」は全角なので、カナモジ文ではタテナガに設定する必要がある。(そのほうが語形がみじかくなりよみやすい)。「ツルコズ」はハジメからタテナガにつくられている。

3 「ツルコズ」は記号がたくさんおさめられている。「アラタ」は記号がすくないのでホカのフォントもあわせてつかう必要がある。

4 「アラタ」はウィンドウズ~ヨウのみ。「ツルコズ」にはマッキントッシュ~ヨウもヨウイされている。

5 「アラタ」にはフトサと等ハバ/プロポーショナルの子ガイにより6シュルイのタイプがある。「ツルコズ」は1シュルイのみ。

最後に それぞれの 書体を ごらん いただきます。

<アラタ2> (等ハバ)

アイウエオ カキクケコ サシスセソ

<アラタ4> (等ハバ)

タチツテト ナニヌネノ ハヒフヘホ

<アラタ5> (等ハバ)

マミムメモ ヤ ュ ヨ ラリルレロ

<アラタ2 KP> (プロポーショナル)

アイウエオ カキクケコ サシスセソ

<アラタ4 KP> (プロポーショナル)

タチツテト ナニヌネノ ハヒフヘホ

<アラタ5 KP> (プロポーショナル)

ワヰ ヱヲ ン ガ ザ ダ バ パ

<ツルコズ>

アイウエオ カキクケコ サシスセソ

タチツテト ナニヌネノ ハヒフヘホ

マミムメモ ヲ ュ ヨ ラリルレロ

ワヰ ヱヲ ン ガ ザ ダ バ パ

☆「アラタ」を おもとめに なる 方法は、 カナモジカイに おといあわせ  
ください。

☆「ツルコズ」は 販売サイトから テに 入れる ことが できます。  
「ツルコズ」で 検索して ください。

トップページへ

【カオモジカイ キカンシ 「カナヒカリ」 958ゴウ (2014ネン フユ) カラ】